

福井市学校版環境ISO 実施計画書

福井市長 様

私たちの学校は、恵み豊かな環境を守り未来に引き継いでいくために、環境保全に関する学習、教育及び活動を積極的に行って環境にやさしい学校づくりと生命や自然の大切さを理解し郷土を愛するモラルの高い児童生徒の育成に取り組むための実施計画を作成しましたので、福井市学校版環境ISO認定制度による認定の更新を申し込みます。

令和6年 5月 14日

学校名 福井市東安居小学校

校長氏名 林 秀昭

1 今年度の目標(学校の約束)

- ① 東安居地区の環境や地球環境について学習することで、自然や地球を守ろうとする心と態度を育てます。
- ② 学校で水や電気などの資源を大切に使い、節電・節水に努めます。
- ③ 学校のごみを減らすためにごみの分別回収を行い、リサイクルに努めます。

2 取組内容

- ① 環境学習
 - ・総合的な学習の時間に環境についての調べ学習を行います。東安居地区の環境や地球環境について、興味関心に応じて調べ、考え、報告をします。
- ② 節電・節水の取組
 - ・「福井市東安居小学校環境方針」を各教室に掲示します。
 - ・節電・節水を呼びかける掲示物を校内に掲示し、全校に節電・節水を呼びかけます。
 - ・花壇や畑の水やりには、雨水タンクの雨水を利用します。
 - ・年に3回、児童一人一人が節電・節水に関する振り返りを行います。
- ③ 分別回収やリサイクル運動
 - ・「燃やせないごみボックス」を各教室に設置し、分別して回収します。
 - ・新聞紙や古紙で作った「リサイクルボックス」を各教室と職員室に設置し、不要になった紙を資源として再利用します。

★ ESDポイント(取組内容の内、1項目についてESDの視点をどのように取り入れるかを記載してください。)

- ・①の環境学習では、自分たちの生活と環境とのつながりや関わりに興味をもち、社会の一員として自分たちの生活を見直す姿勢を身に付ける。(つながりを尊重する態度)

福井市学校版環境ISO 実施報告書

<p>学校名</p> <h1 style="text-align: center;">東安居小学校</h1>	
<p>1 今年度の目標（学校の約束）</p> <p>① 東安居地区の環境や地球環境について学習することで、自然や地球を守ろうとする心と態度を育てます。</p> <p>② 学校で水や電気などの資源を大切に使い、節電・節水に努めます。</p> <p>③ 学校のごみを減らすためにごみの分別回収を行い、リサイクルに努めます。</p>	
<p>2 取組内容</p> <p>① 環境学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5年生が総合的な学習の時間にSDGsについて調べ学習を行いました。自分たちの興味関心に応じて調べ、自分たちができることを考えて報告し合いました。 <p>② 節電・節水の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「福井市東安居小学校環境方針」を各教室に掲示しました。 ・節電・節水を呼びかける掲示物を校内に掲示し、全校に呼びかけました。 ・花壇や畑の水やりには、雨水タンクの雨水を利用しました。 ・年に3回行っている生活習慣の振り返り「ステップアップ」の中に、節電・節水に関する項目を設け、児童一人一人が振り返りました。 <p>③ 分別回収やリサイクル運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「燃やせないごみボックス」を各教室に設置し、分別して回収しました。 ・新聞紙や古紙で作った「リサイクルボックス」を各教室と職員室に設置しました。年2回の資源回収をPTAで行い、不要になった紙を資源として再利用しました。 	  
<p>★ ESDポイント（取組内容の内、1項目についてESDの視点を取り入れたポイントを記載して下さい。）</p> <p>①の環境学習では、自分たちの生活と地球上のさまざまな問題について見聞を広げ、自分たちができることを考えることができました。（多面的・総合的に考える力）</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl;">3 見直し</p>	<p>【具体的効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5年生がSDGsについて調べ、考え、地球上の問題や目指すべき未来像について目を向けることで、自分たちと地球のつながりについての意識が芽生えてきています。 ・燃やせるごみ、燃やせないごみ、リサイクルボックスの設置により、ごみを分別したり、資源を大切にしたりする意識が高まっています。 <p>【改善点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・節電・節水に対する意識は個人差が大きく、まだまだ意識できていない児童も多いです。啓発するポスターも常掲されているが、その効果がだんだん薄れがちなので、委員会活動で呼びかけたり、クラスで振り返ったり話し合ったりしていけると

	<p>よいと考えます。</p>
--	-----------------